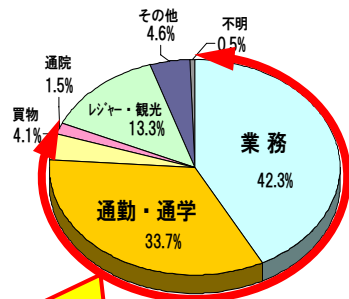


# 「利便性」と「安全・安心」が向上し、地域にかかせない施設として定着

- ・本格運用後も着実に利用交通量は増加。  
(月平均利用交通量が1年間で1.2倍)
- ・日常生活の「利便性」や企業活動の「効率化」を支える交通拠点として定着。
- ・迅速な救急活動・救急搬送が可能となり、住民生活が「安全・安心」に。(アクセス時間が約10～15分短縮)

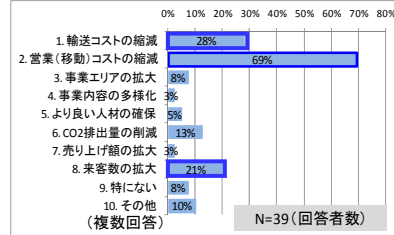
### ◆スマートICの利用目的



「業務」、「通学・通勤」などの利用が約8割

(利用者アンケート調査結果[社会実験中(H20.9)])

### ◆スマートIC整備のメリット

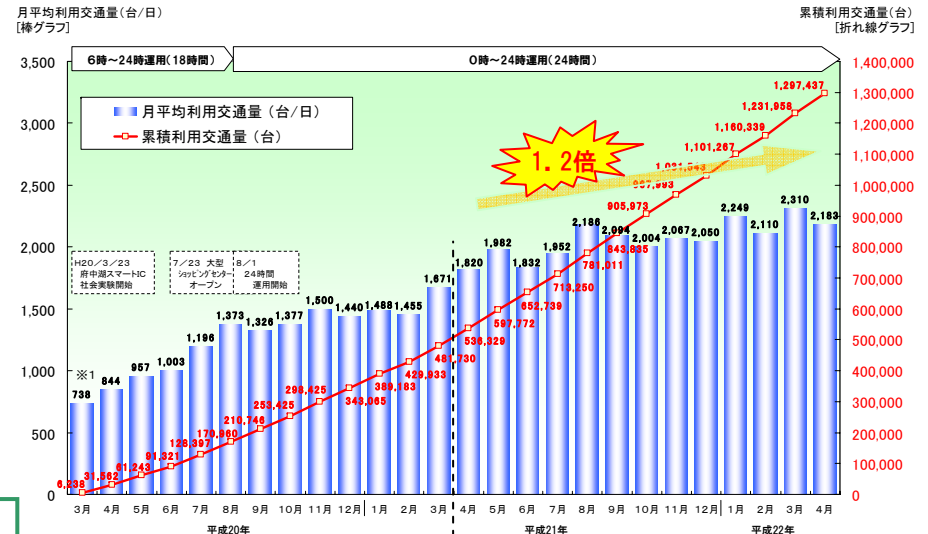


(事業所アンケート調査結果[社会実験中(H20.7)])

◇大型ショッピングセンターよりの声  
「ETC装着のお客様が、坂出ICまたは高松西ICまで行かなくてよいため、便利になっている」  
「県外から府中湖PAスマートICを利用して、当店に來られるお客様も多い」

(商業施設へのヒアリング調査結果[社会実験中(H20.8)])

### ◆月平均利用交通量の推移



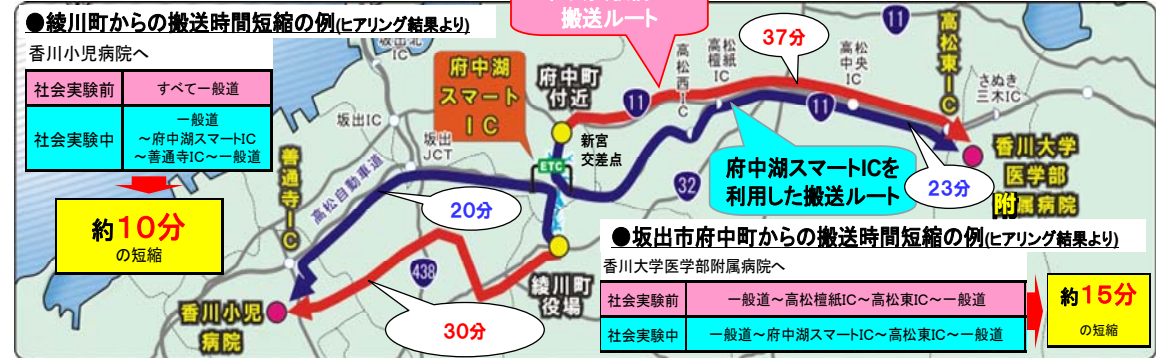
社会実験期間      本格運用

※ 社会実験開始日は、運用開始時間が15時のため、月平均利用交通量集計から除外

### ●位置図



### ◆府中湖PAスマートIC利用による搬送時間短縮例



◇三次医療施設や緊急性が必要な小児病院へのアクセス時間が約10～15分短縮

◇社会実験期間中の約1年間の救急車利用件数は52件 (月平均約5件) ※

(※H20.3.24～H21.2.17まで)